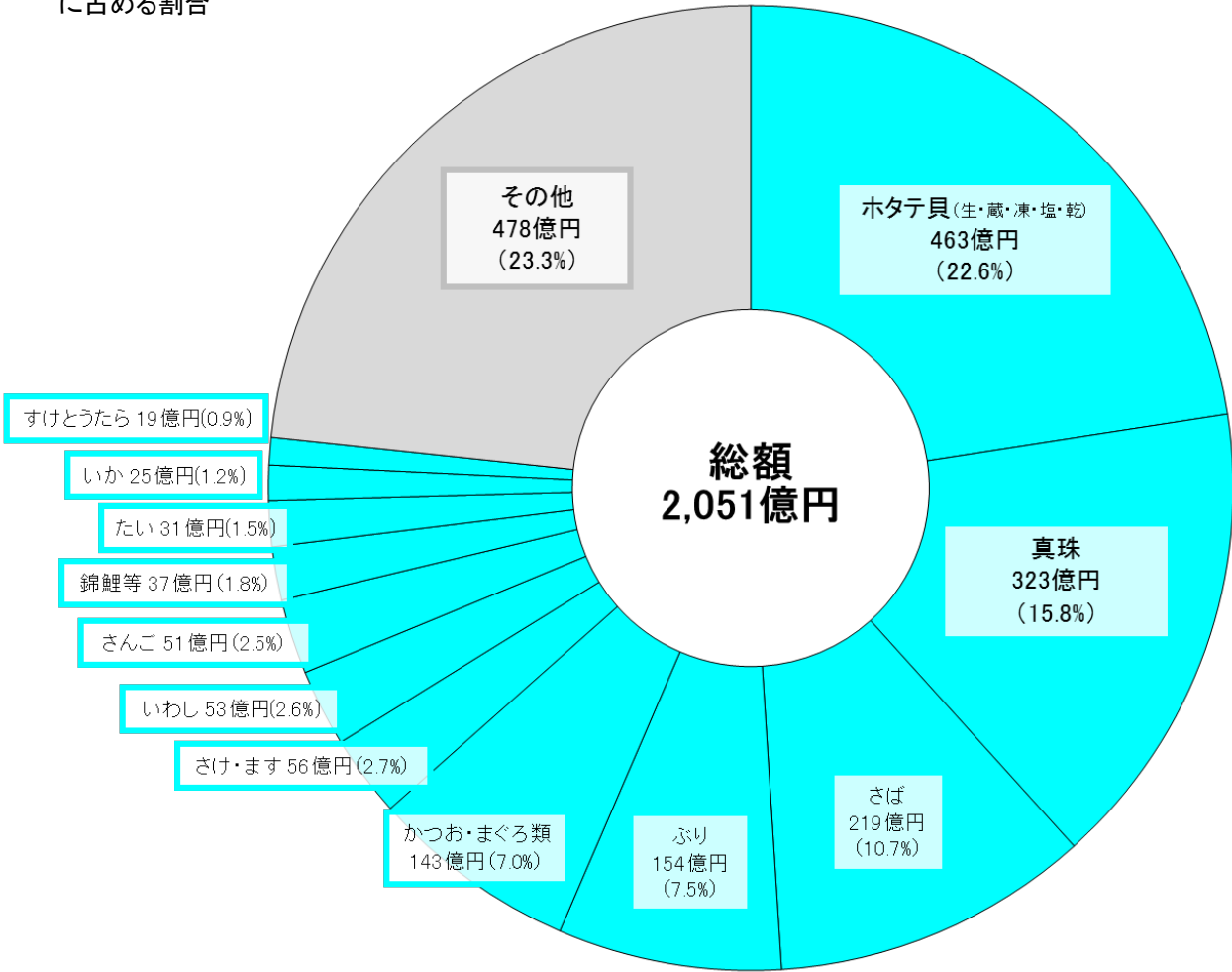


水産物(水産調製品以外)の内訳

●水産物(水産調製品以外)の品目別内訳をみると、ホタテ貝、真珠、さば、ぶりなどの割合が多い。

(平成29年)

※カッコ内は輸出額
に占める割合



(単位: 億円)

品目名	平成28年	平成29年	増減率
ホタテ貝(生・蔵・凍・塩・乾)	548.3	462.5	▲15.6%
真珠	303.8	323.3	6.4%
さば	179.9	218.8	21.7%
ぶり	134.7	153.8	14.2%
かつお・まぐろ類	97.9	142.6	45.6%
さけ・ます	65.4	56.1	▲14.1%
いわし	34.6	53.0	53.3%
さんご	63.6	51.5	▲19.0%
錦鯉等	35.6	36.7	3.1%
たい	30.1	31.1	3.5%
いか	35.8	24.6	▲31.4%
すけとうたら	23.5	18.7	▲20.3%
その他	401.3	478.3	19.2%
水産物(水産調製品以外)計	1,954.4	2,051.1	4.9%

資料: 財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成

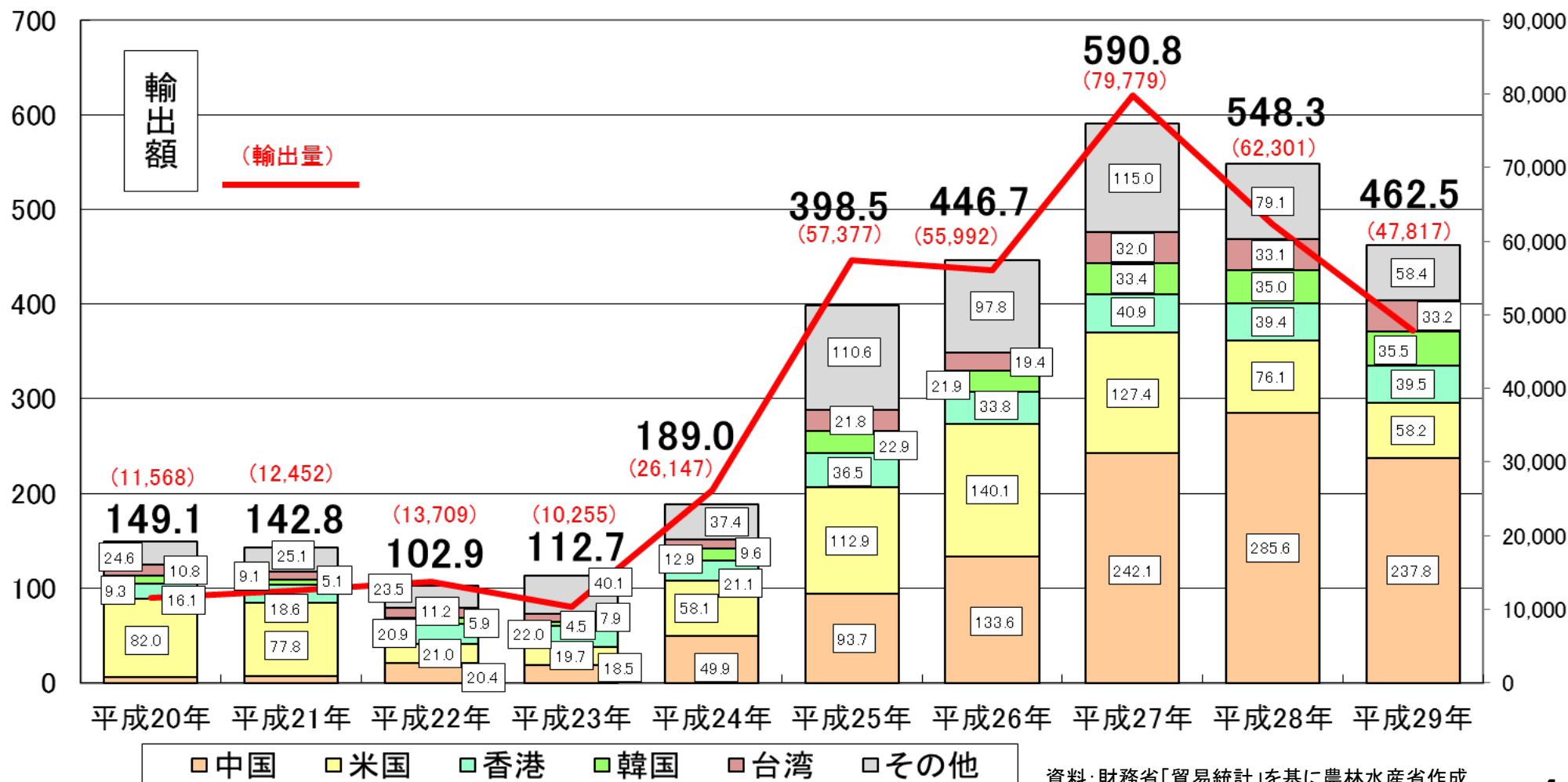
ホタテ貝(生鮮・冷蔵・冷凍・塩蔵・乾燥)の輸出額・輸出量及び輸出先国の推移

MAFF

- 平成24年以降、輸出額は顕著に増加したが、水揚量の減少等により、平成28年以降は減少。
- 平成29年の輸出額は、輸出上位国の中国・米国向けで全体の約6割を占める。

(輸出額: 億円)

(輸出量: トン)



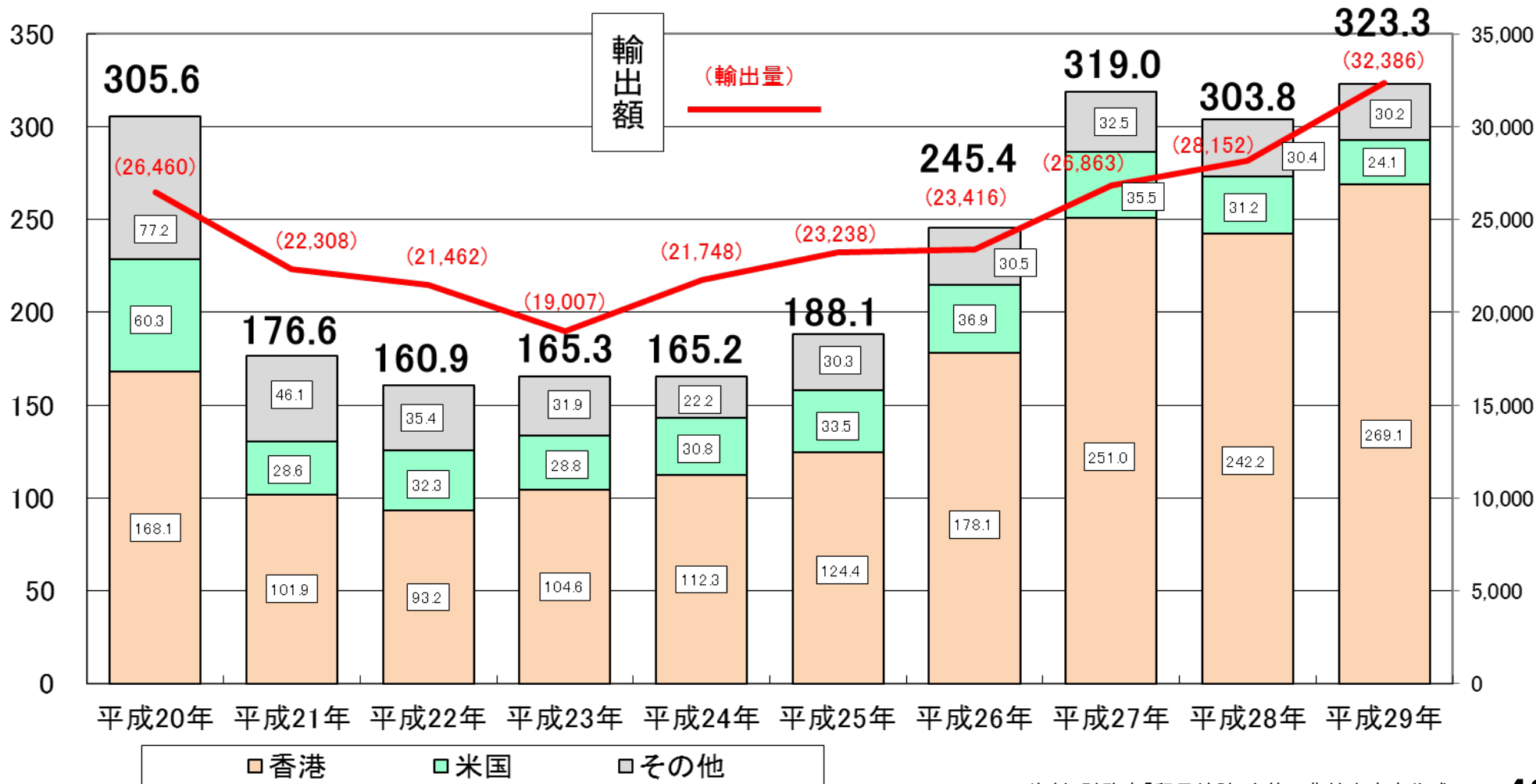
真珠の輸出額・輸出量及び輸出先国の推移

MAFF

- 平成25年以降、輸出額は増加傾向で推移。
- 平成29年の輸出額は、香港向けが全体の約8割を占める。

(輸出額: 億円)

(輸出量: キログラム)

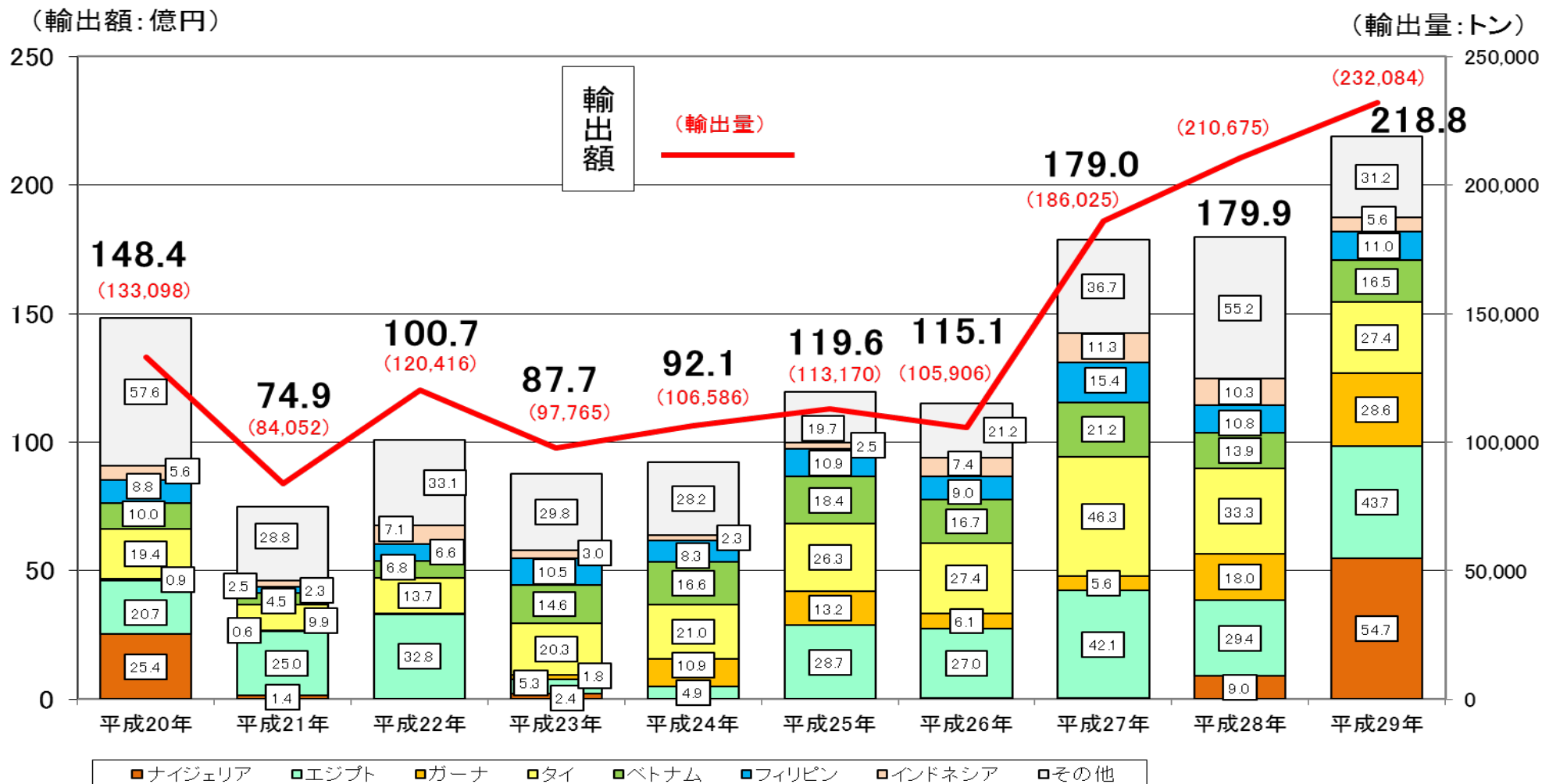


資料: 財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成

さばの輸出額・輸出量及び輸出先国の推移

MAFF

- 平成27年以降、輸出額は増加傾向で推移。
- 平成29年の輸出額は、ナイジェリアやエジプト、ガーナ等のアフリカ向けが全体の約6割を占め、タイやベトナム、フィリピン等の東南アジア向けが全体の約3割を占める。



※輸出額は、平成22年までは冷蔵及び冷凍品の計。平成23年からは生鮮、冷蔵及び冷凍品の計
資料: 財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成

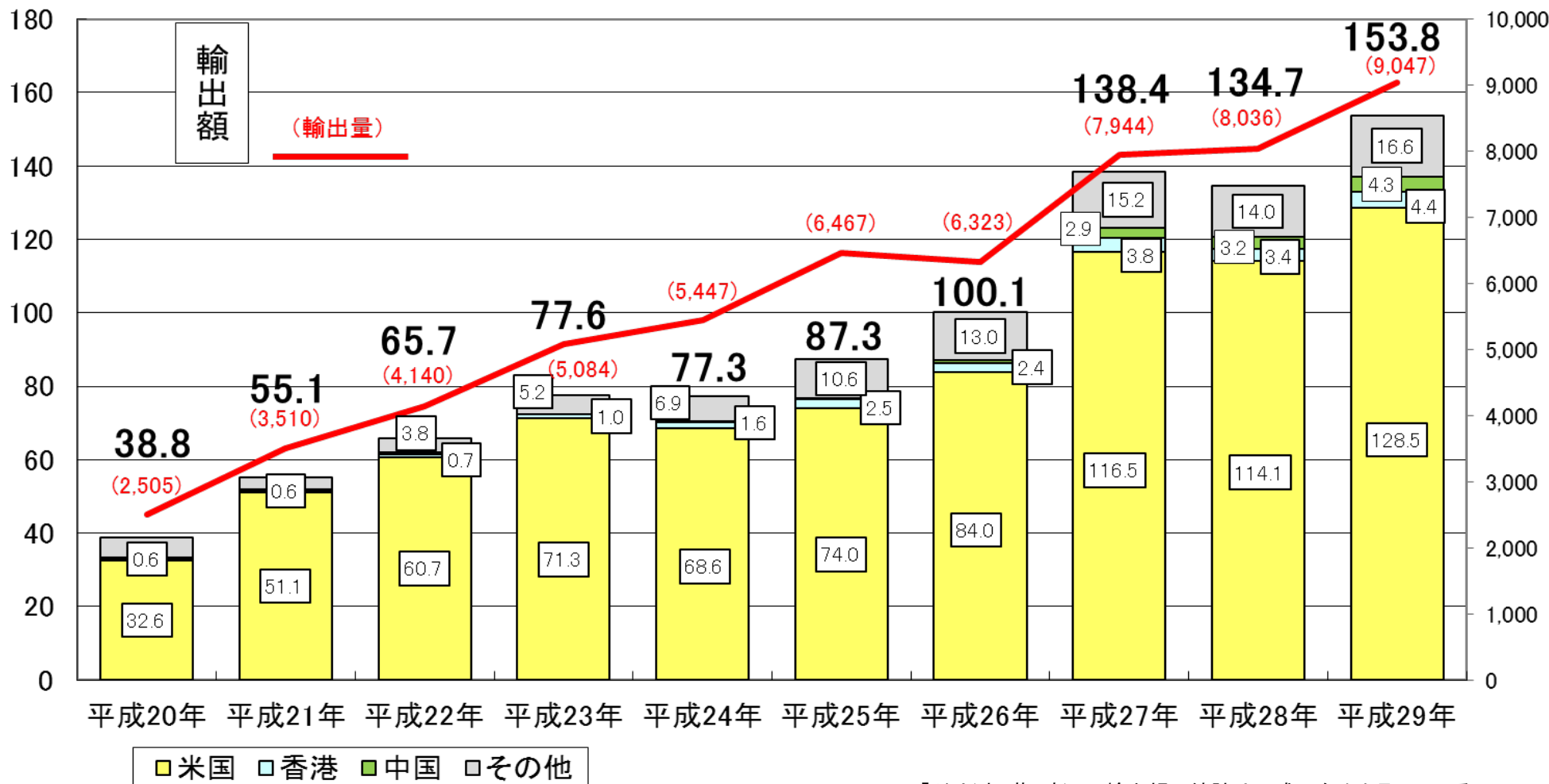
ぶりの輸出額・輸出量及び輸出先国の推移

MAFF

- 輸出額は、年々増加傾向で推移。
- 平成29年の輸出額は、米国向けが全体の約8割を占めるほか、香港や中国の需要が高まっている。

(輸出額: 億円)

(輸出量: トン)



※「ぶり(生・蔵・凍)」の輸出額の統計は平成20年から取っている
資料: 財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成

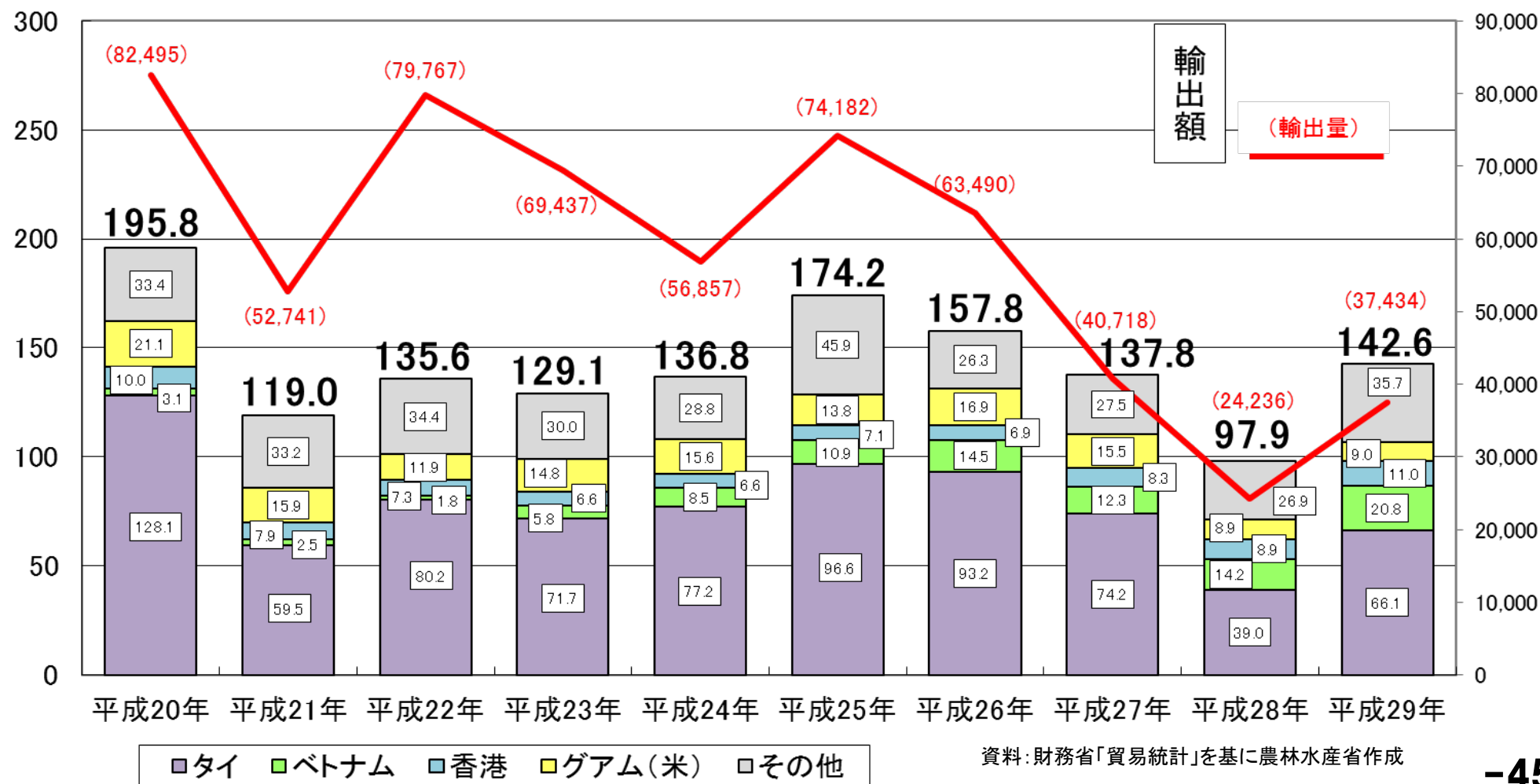
かつお・まぐろ類の輸出額・輸出量及び輸出先国の推移

MAFF

- 平成26年以降、輸出額は減少傾向で推移していたが、平成29年は国際相場が上昇した影響を受け、輸出へ仕向ける量が増え、輸出額が増加。
- 平成29年の輸出額は、タイ・ベトナム向けが全体の約6割を占める。

(輸出額: 億円)

(輸出量: トン)



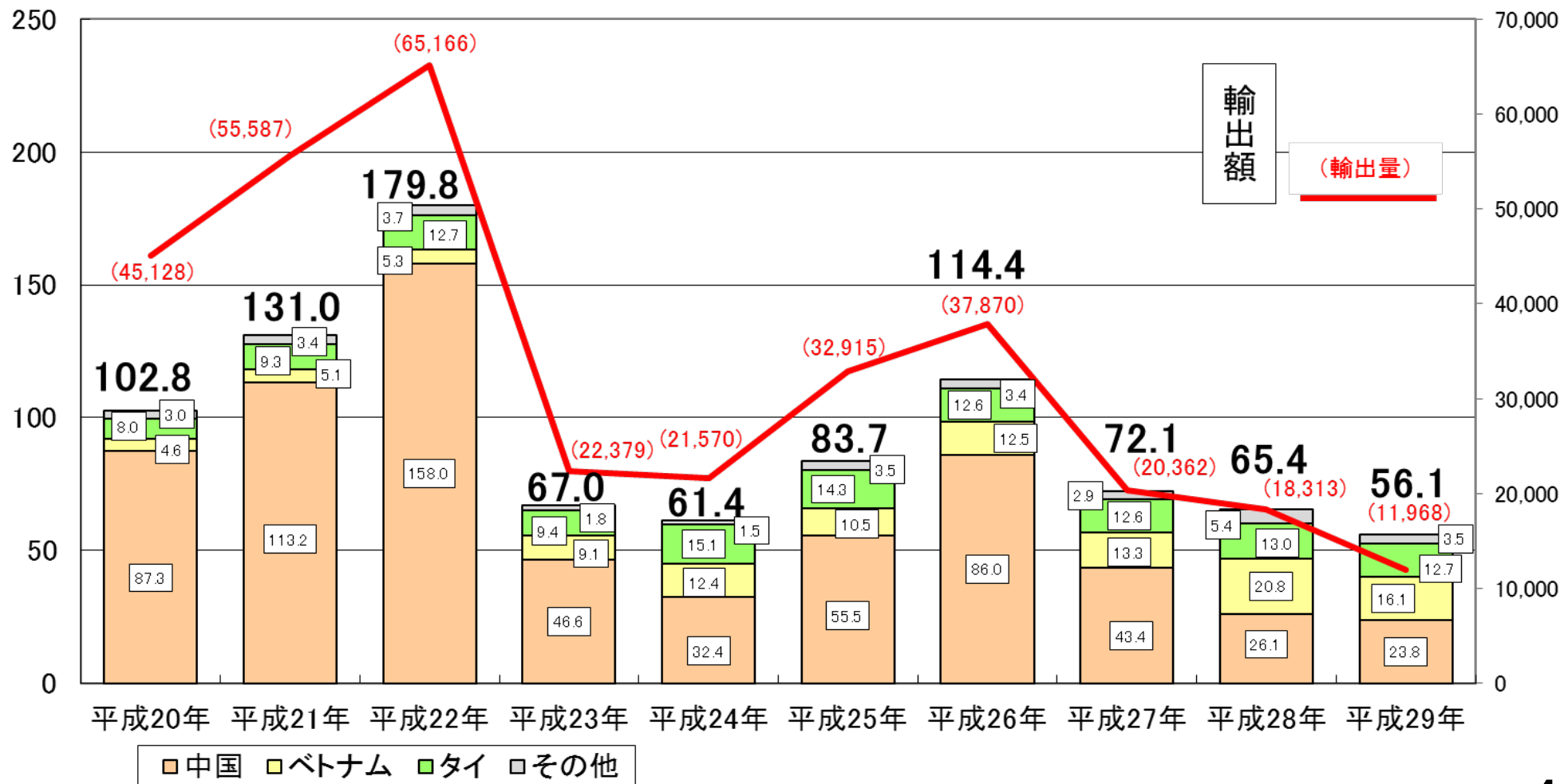
さけ・ますの輸出額・輸出量及び輸出先国の推移

MAFF

- 近年の漁獲量の減少により、輸出額は減少傾向で推移。
- 平成29年の輸出額は、中国向けが全体の約4割を占めるほか、ベトナム、タイ向けが全体の約5割を占める。

(輸出額:億円)

(輸出量:トン)

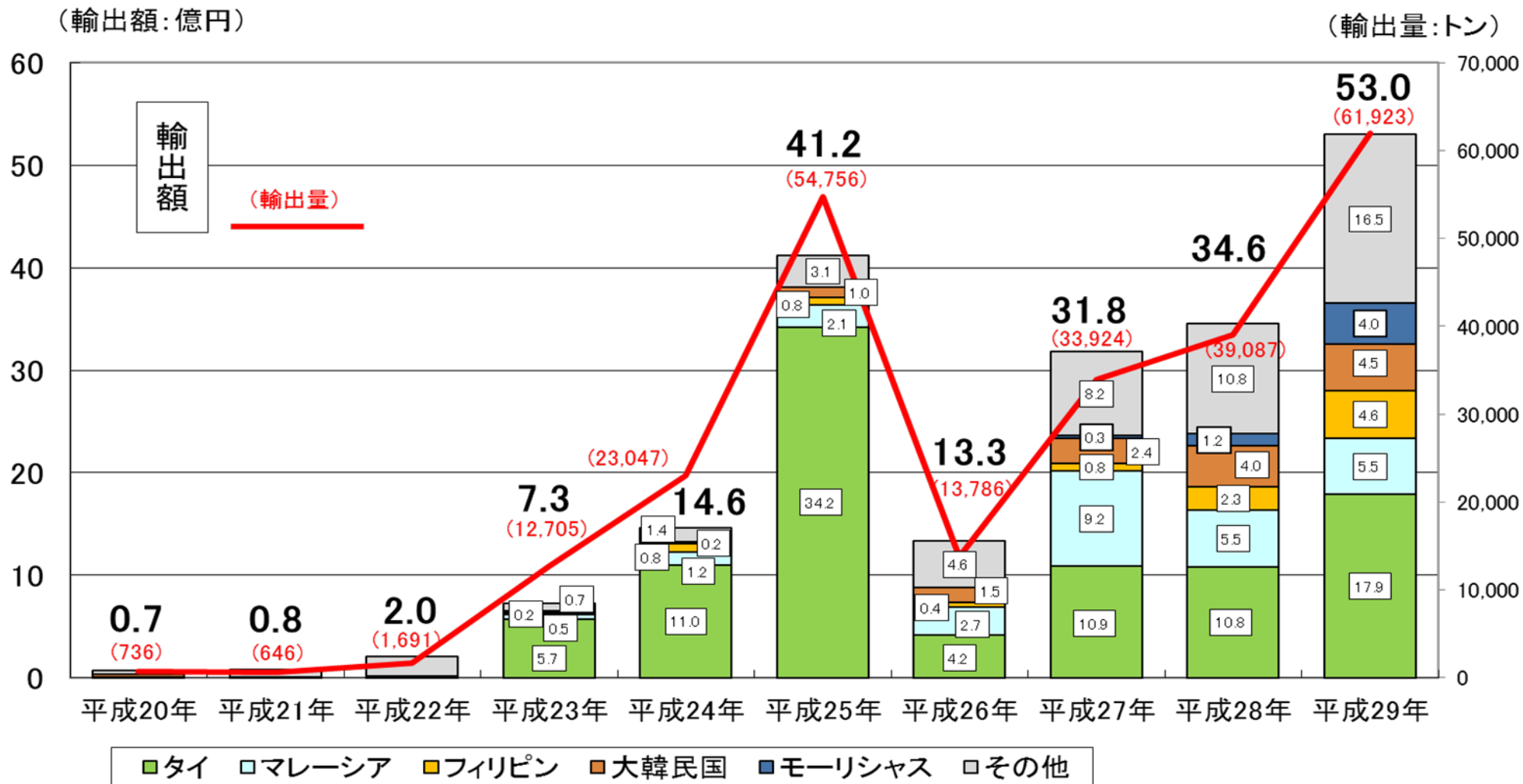


資料: 財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成

いわしの輸出額・輸出量及び輸出先国の推移

MAFF

- 平成27年以降、輸出額は増加傾向。
- 平成29年の輸出額は、タイやマレーシアなどアジアを中心に多くの国・地域向けに輸出。



資料: 財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成

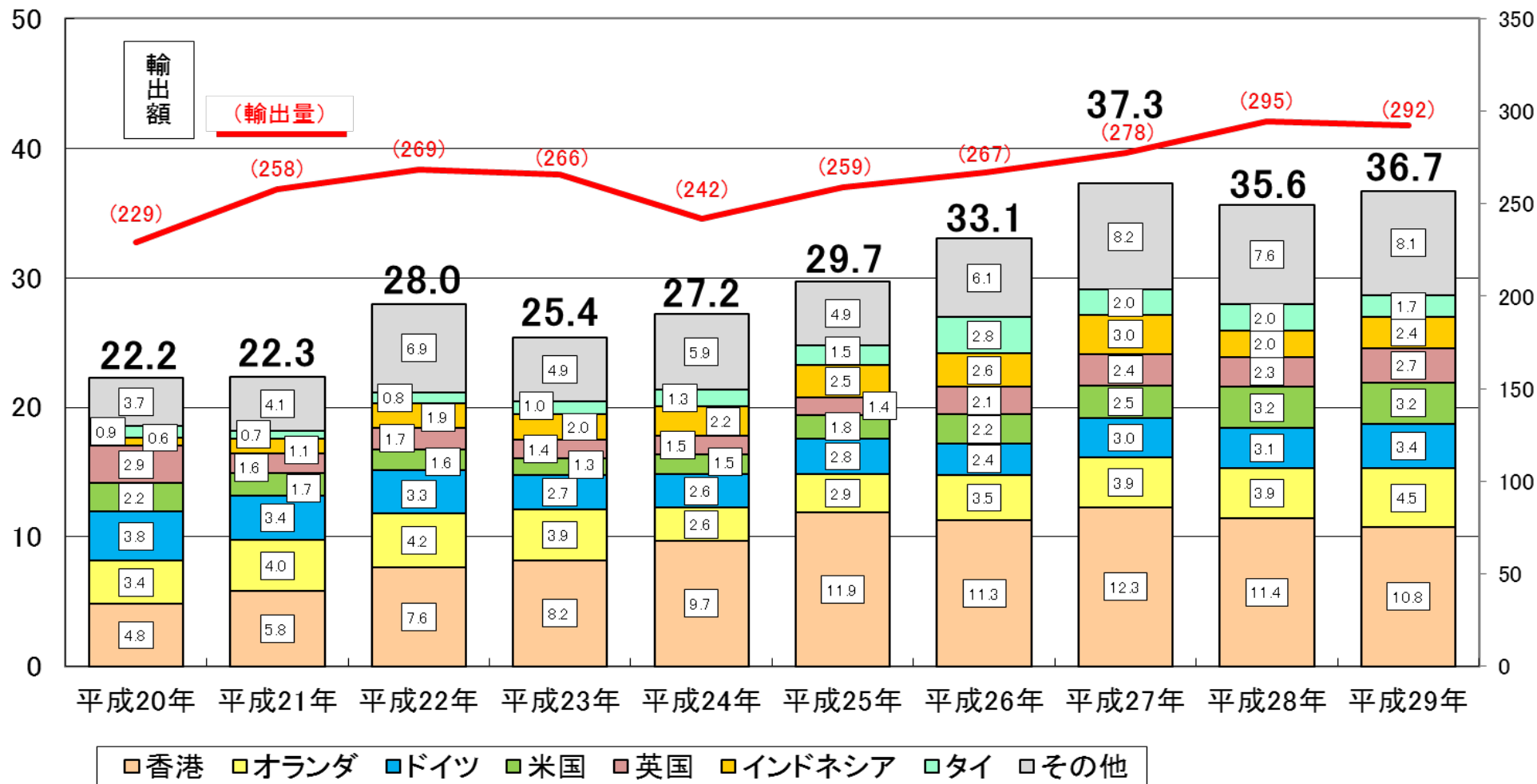
錦鯉等観賞用魚の輸出額・輸出量及び輸出先国の推移

MAFF

- 欧米やアジアの富裕層を中心に日本文化の象徴として楽しまれており、年々増加傾向で推移。
- 平成29年は、香港等のアジア向けやオランダ・ドイツ等の欧州向けをはじめとして多く国・地域向けに輸出。

(輸出額: 億円)

(輸出量: トン)



資料: 財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成

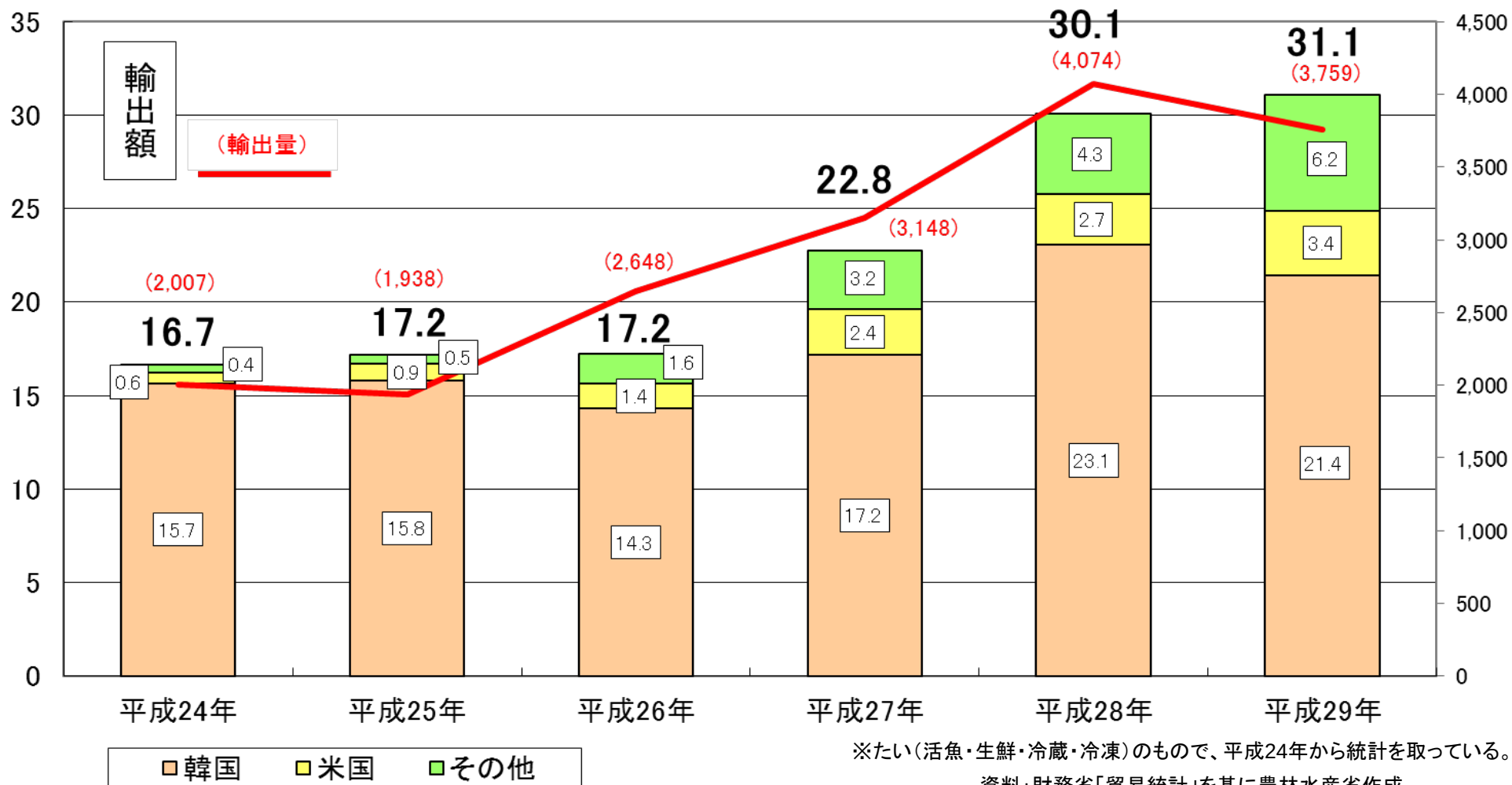
たいの輸出額・輸出量及び輸出先国の推移

MAFF

- 平成27年以降、輸出額は増加傾向で推移。
- 平成29年の輸出額は、韓国向けが全体の約7割を占める。

(輸出額: 億円)

(輸出量: トン)



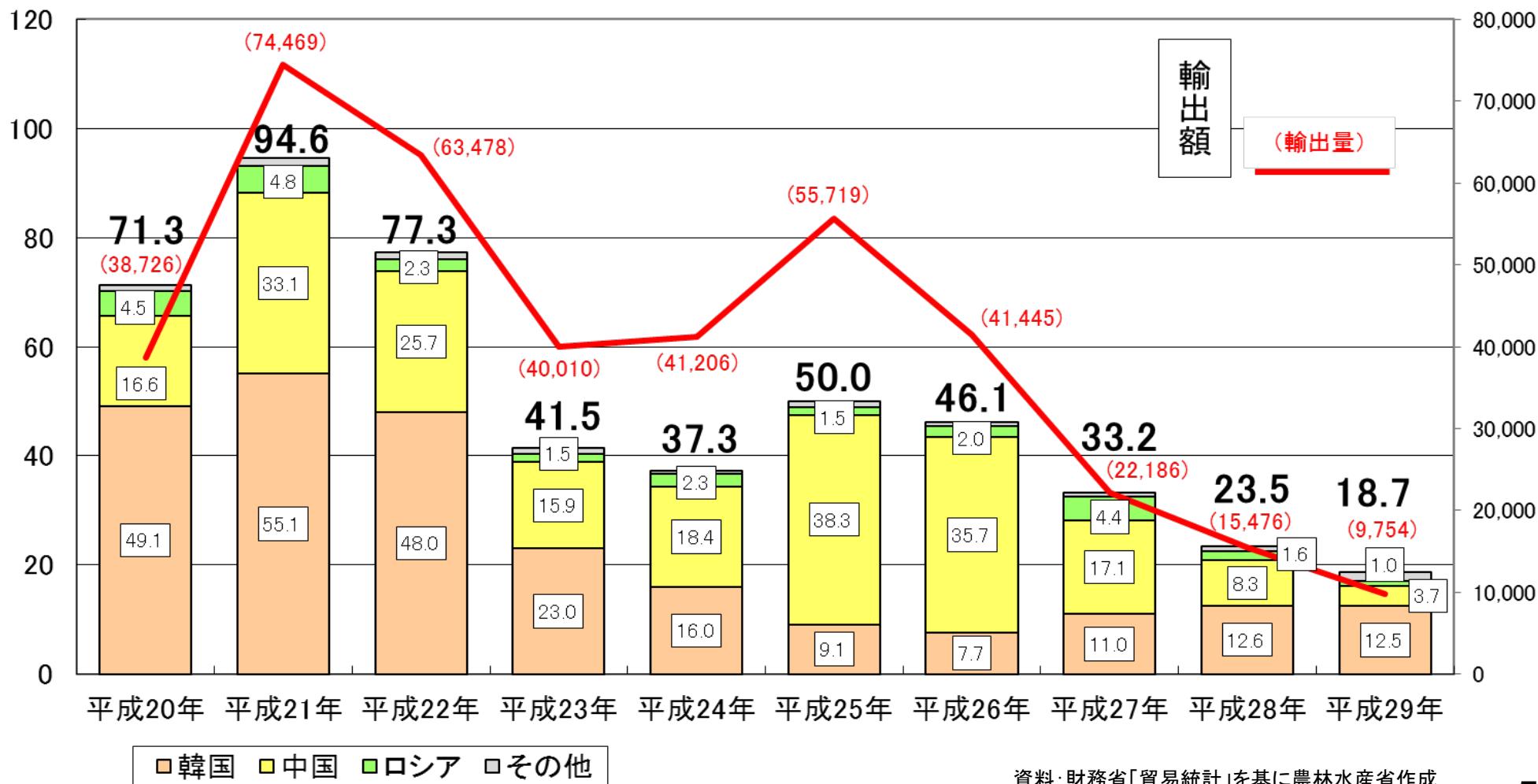
すけとうたらの輸出額・輸出量及び輸出先国の推移

MAFF

- 平成22年以降、輸出額は減少傾向で推移。
- 平成29年の輸出額は、韓国、中国向けが全体の約9割を占める。

(輸出額: 億円)

(輸出量: トン)



資料: 財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成

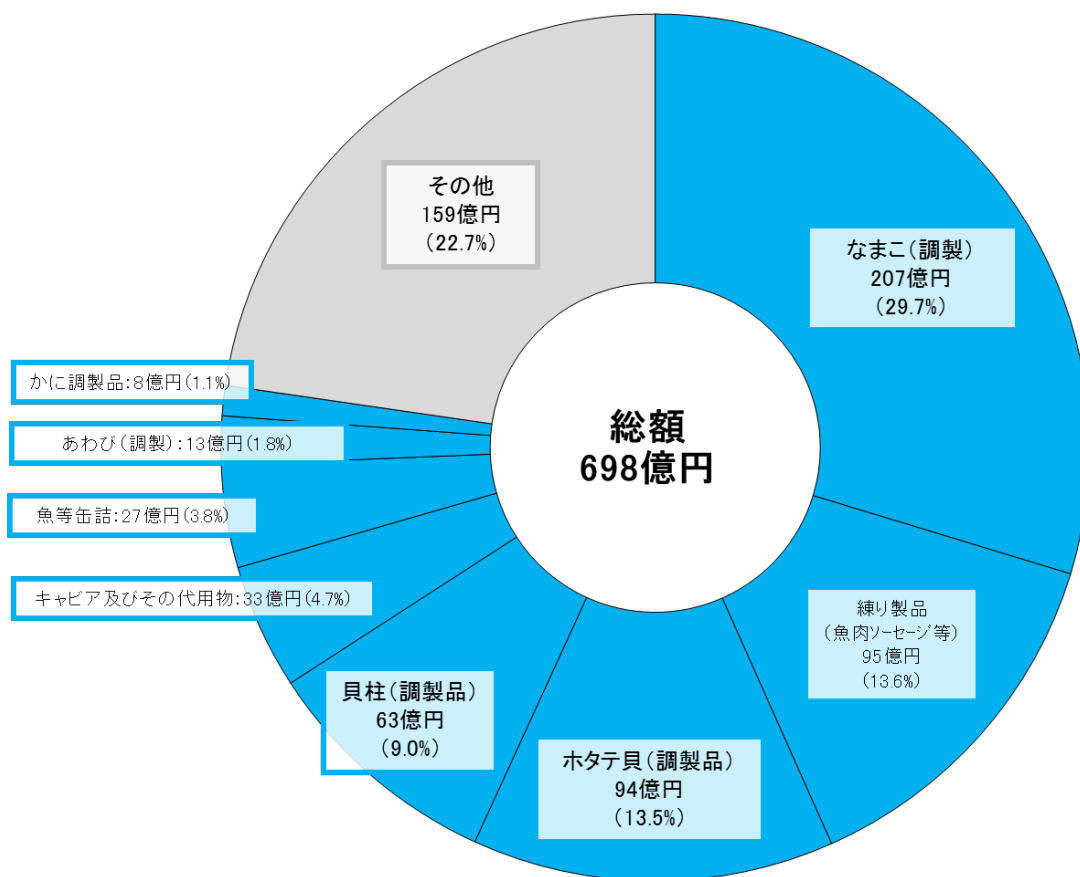
水産調製品の内訳

MAFF

- 水産調製品の品目別内訳をみると、なまこ(調製)、練り製品、ホタテ貝(調製)などの割合が多い。

(平成29年)

※カッコ内は輸出額
に占める割合



(単位:億円)

品目名	平成28年	平成29年	増減率
なまこ(調製)	181.8	207.4	14.1%
練り製品(魚肉ソーセージ等)	92.7	95.2	2.7%
ホタテ貝(調製品)	128.4	94.1	▲26.7%
貝柱(調製品)	59.8	63.1	5.6%
キャビア及びその代用物	27.9	32.6	16.8%
魚等缶詰	25.6	26.7	4.4%
あわび(調製)	15.7	12.7	▲19.4%
かに調製品	6.5	7.8	19.8%
その他	242.6	158.5	▲34.7%
水産調製品	686.1	698.2	1.8%

※貝柱(調製品)は、主にホタテ貝、いたや貝、い貝、巻貝以外の貝柱のもの

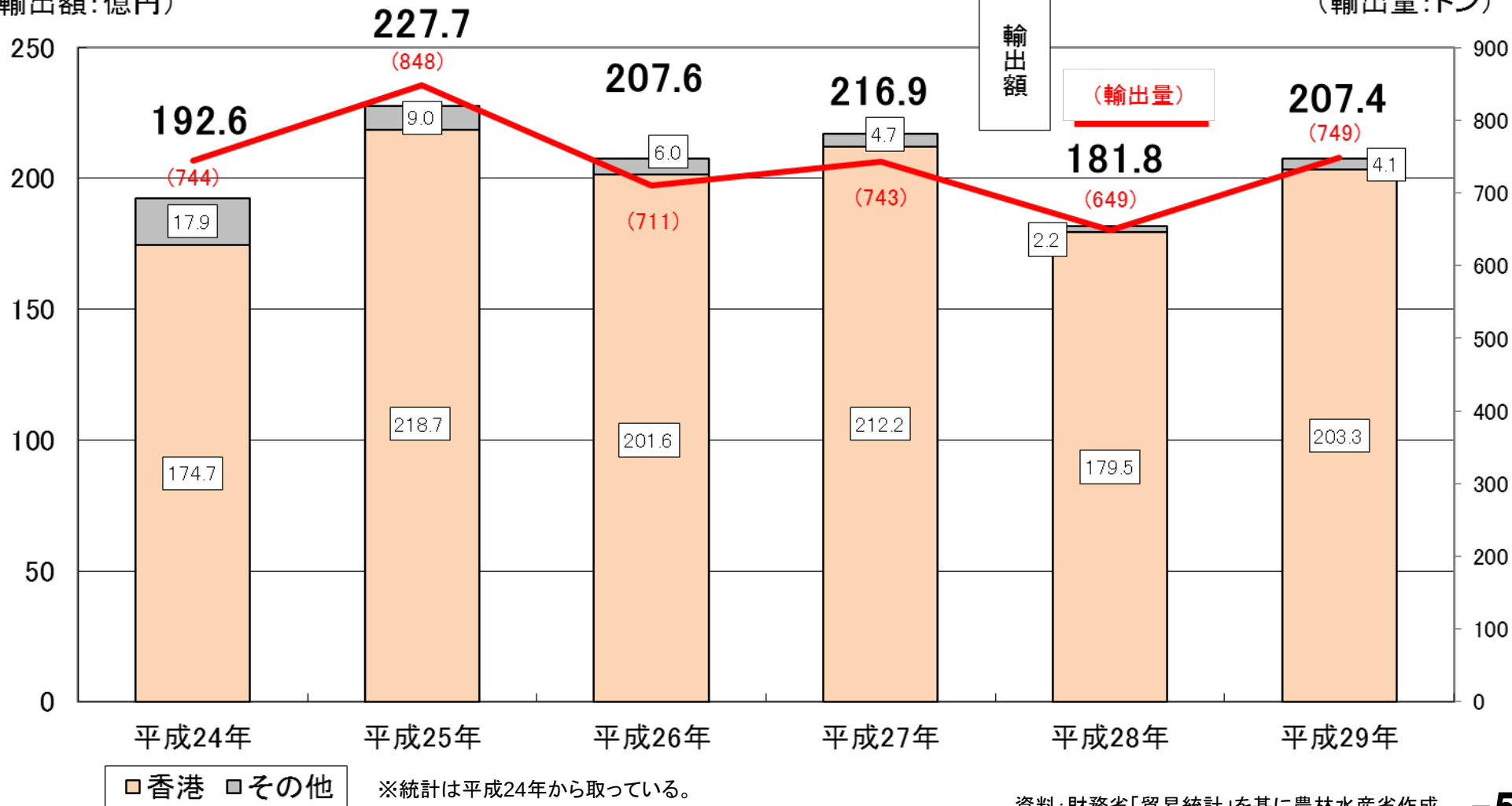
なまこ(調製)の輸出額・輸出量及び輸出先国の推移

MAFF

- 平成24年以降は輸出額が一定程度で推移。
- 平成29年の輸出額は、香港向けが全体のほぼ全てを占める。

(輸出額:億円)

(輸出量:トン)



資料:財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成

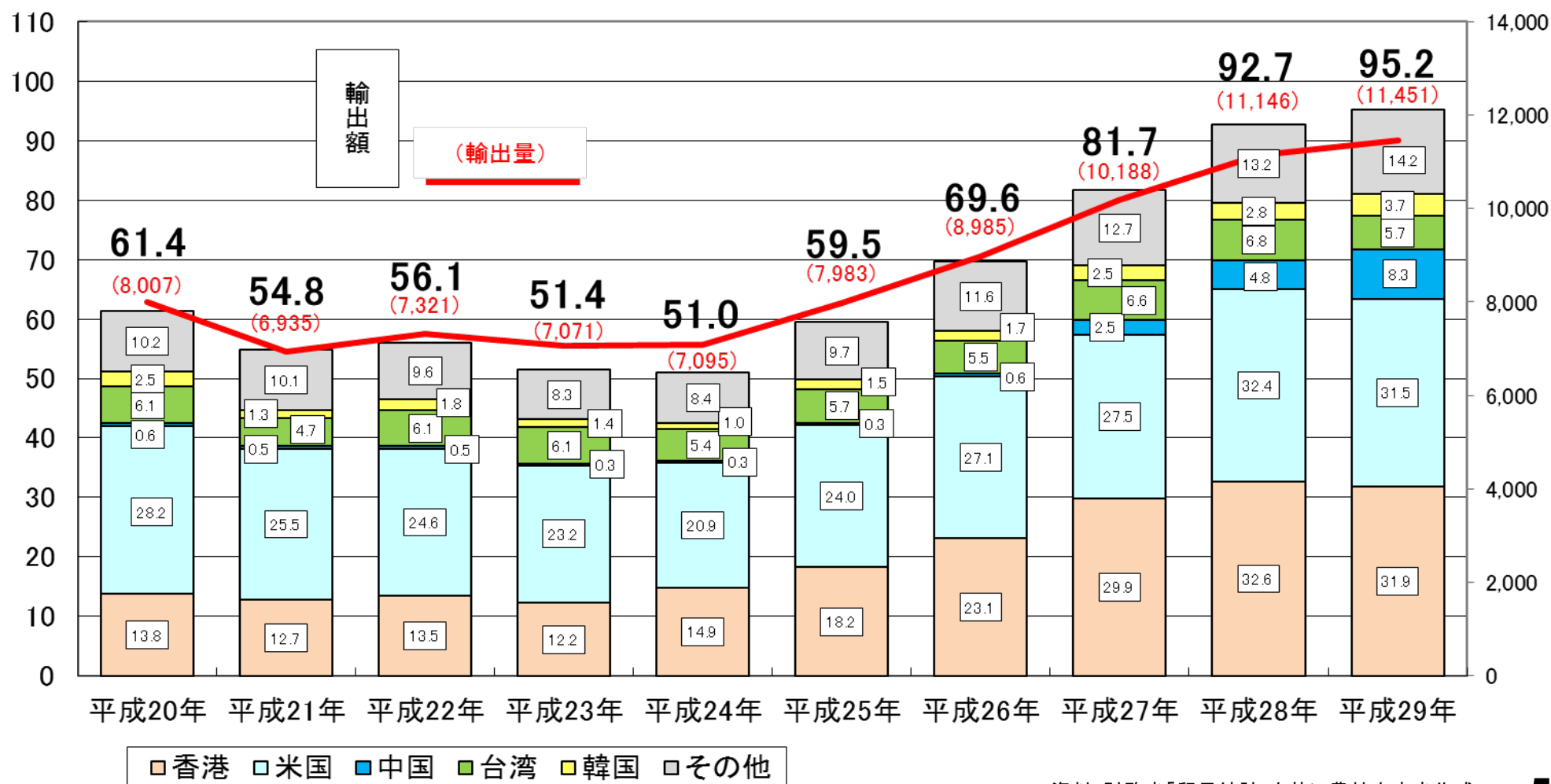
練り製品(魚肉ソーセージ等)の輸出額・輸出量及び輸出先国の推移

MAFF

- 平成25年以降、輸出額は増加傾向で推移。
- 平成29年の輸出額は、香港向けが全体の約3割、米国向けが全体の3割を占める。

(輸出額:億円)

(輸出量:トン)



資料:財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成

ホタテ貝(調製品)の輸出額・輸出量及び輸出先国の推移

MAFF

- 平成24年以降、輸出額は増加傾向で推移したが、ホタテ貝の水揚量の減少等の影響を受け、平成28年以降は減少傾向。
- 平成29年の輸出額は、香港向けが全体の約7割を占める。

(輸出額:億円)

(輸出量:トン)

